

■上州山歩き



くろふやま
黒斑山（標高2404m）歩行 表コース往復約3時間

黒斑山は上州ではないが、ここからの噴煙を上げる浅間山の眺めは非常に素晴らしい。

11月23日前夜からの雨が朝にはあがり、雪の浅間山が見える。あわてて支度をして上信道に乗り、小諸ICで下り車坂峠に向かう。群馬側は晴れていたが怪しげな空模様になってくる。

ヘアピンカーブ続きのチェリーパークラインを通り車坂峠に着く。風が非常に強く温度もかなり低い。さっきまでの怪しげな雲は雲海となり、足下に広がる。標高はすでに1978mである。上空もあまりお天気は良くなさそう。黒斑山山頂に続く尾根のシラビソなどが樹氷になって、霧の合間から見える。山はもう冬である。ホテルの駐車場に車を置き、歩き始める。案内板があるので、それを見てからいよいよ登山開始だ。登山道はしっかりとしているので迷うことはない。すこし歩くと下り坂となる。下りきると、こんどは溶岩状の岩のゴロゴロした上り坂となる。シャクナゲの群落、シラビソの林の中を一汗かきながら登る。今回はシャクナゲも雪に

包まれて寒そうだ。シラビソなどの針葉樹も雪に覆われて、クリスマスの夜を連想する。雪の山も美しい。後ろを振り返ると、アサマパークスキー場で滑るスキーヤー達（スノーボーダーか？）が見えるが、ここは静寂である。やがて雪に埋まったシェルターが現れる（浅間山噴火の際に避難所として使う）。これを通り過ぎると「槍の鞘」となり、今までの樹林帯から景色は一変し、目の前には浅間山が噴煙を上げながら眼前に迫り、雄大な姿を見せる。いったん左に下り「トミーの頭」へと登る。頭から30分ほどで黒斑山頂だ。

下山は往路コースを車坂峠に下りよう。車坂峠に登りあげる最後の一登りがわずかだが汗のかくところだ。駐車場はもうそこだ。駐車のお礼にお風呂にのんびりつかり、疲れを癒してから安全運転で帰ろう。

黒斑山は、浅間山撮影の絶好のカメラポジションでもある。シャクナゲの咲く6月や高山植物が花を咲かせる頃は非訪れて見てください。短時間で安全に行けて、季節毎に見所のあるコースです。
(株)小泉農園・小泉 俊夫

■事務局だより

冷え込む景気動向の中、会員企業の努力は並々ならぬものと察します。現実には会員として協会に留まることさえ難しい社会情勢であり、生き残りを賭けた熾烈な競争には拍車が掛かっています。

しかし、我々が携わる造園建設業は環境の時代にふさわしい業種といえ、将来展望は比較的開けていると感じます。我が社団法人群馬県造園建設業協会も公益法人改革に伴い、平成23年度には一般社団法人への移行を計画していますが、更に団体としての力の結集と技術力の向上を図ると共に、環境関連産業としての重要性を啓発し事業の創造に邁進することが何よりも求められています。また、会員各社においても造園に関連した業務拡大や技術向上を図り、この厳しい時期を乗り切っていくことが重要です。その先には必ずや明るい活躍の場所を確保することができるでしょう。

平成19年の全国都市緑化ぐまフェアの修景工事を担当し、その後、事務局長として仕事をやる機会を与えられ今日まで3年の月日が経過し、事務局長としては少し出過ぎたところや、役員の皆様には失礼極まりない言動もありましたが、何卒お許しを頂きたいと思っております。しかしながら、迅速・適格をモットーに自分なりに職務を全うできたと自負しており、皆様には感謝の気持ちで一杯です。慣れ親しんだ協会を去ることになり心残りもありますが、役員をはじめ会員の皆様の団結力をもって発展されることを祈っています。会員の皆様、本当にありがとうございました。（事務局長 斎藤 昌之）

